



消防車・救急車の緊急走行にご理解とご協力を！

緊急自動車（消防車、救急車など）は、一刻も早く火災などの災害現場に到着し、被害を最小限にするための消防活動を行ったり、けがや病気の人を速やかに医療機関へ搬送しなければなりません。そのため、道路の右側部分に車体をはみ出して通行することや、赤信号の交差点に進入できるなどの特例が、法律で認められています。

緊急自動車が接近してきた場合は、次のように対応してください。

- ▶交差点またはその付近
交差点内を避け、道路の左側に寄って、一時停止してください。
▶一般の道路
道路の左側に寄って、進路を譲ってください。

- ▶狭い道路
緊急自動車の通行に支障がないようにしてください。
▶高速道路
緊急自動車が高速度道路などで本線車線に進入しようとしている場合は、妨げないようにしてください。
▶自転車走行中または歩行中
自転車の走行や歩行を止め、進路を譲ってください。



※緊急車両は走行中サイレンを鳴らすことが法律で義務付けられています。夜間など緊急走行時のサイレン音についてもご理解をお願いします。

除雪のお願い

消火栓や防火水槽が雪に埋もれた状態で火災が発生すると、消火する水の確保に時間がかかり、被害を最小限に食い止めることが難しくなります。お住まいの地域で除雪を行うときは、雪に埋もれた消火栓などがありましたら、除雪にご協力をお願いします。



チケット情報

ひこね市文化プラザ

3月12日(土)11:30/15:30 グランドホール
よしもとのお笑いライブ in ひこね
出演者：中川家、スーパーマラドーナ、コロコロチキチキペッパーズ、エルフ、吉本新喜劇(すっちゃん)ほか
指定【好評発売中】友の会4,500円、一般5,000円
※5歳以上または身長110cm以上のお子様はお席が必要となります。

3月20日(日)14:00 メッセホール
書で個性を伸ばそう！
【2月19日(土)申込受付開始】参加費200円 ※小学生対象
持ち物：書道セットほか、詳しくはひこね市文化プラザホームページをご覧ください。

4月10日(日)14:00 エコーホール
オペラ物知り講座 in ひこね Vol.14「椿姫」【協力事業】
【自由】【2月1日(火)9:00～販売開始】
前売2,800円、当日3,000円、ペアチケット5,000円

申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00~19:00)
チケットはインターネットでもご購入いただけます。https://bunpla.jp/

2月の休館日：7日(月)、14日(月)、21日(月)、28日(月)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は 翌開館日から承ります。

【ひこね市文化プラザ・みずほ文化センターでは、次の感染症対策を実施しています】▶館内設備の定期消毒 ▶手指消毒液の設置
▶飛沫飛散防止カーテンの設置 ▶非接触型体温計の常備 ▶新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサポ滋賀」の表示の設置

みずほ文化センター

3月5日(土)14:00 多目的ホール
アンサンブルMUSEがあなたに贈る すてきな歌の世界
身近にクラシック音楽を届けたい!そんな思いのつまったコンサートです。
【自由】【好評発売中】一般2,000円、青少年(25歳未満)1,000円
※当日券は各500円増 ※3歳以上有料
出演：<ソプラノ>高木充江、山本哲子 <チェロ>辻寛子
<ピアノ>今堀智子
特別ゲスト出演：<フルート>森本英希(テレマン室内オーケストラ)

3月20日(日)14:00 多目的ホール 【小学生以上】 【託児あり(有料・要予約)】
彦根亭 みずほ密席 Vol.42
お馴染みの松竹芸能の愉快な面々が笑いを届けます。
【自由】【好評発売中】
前売500円、当日600円
出演：笑福亭呂竹、笑福亭鶴太、トライアングル、ハノーバー

申込・お問い合わせ先 みずほ文化センター ☎43-8111 (9:00~17:00)

2月の休館日：1日(火)、8日(火)、12日(土)、15日(火)

◎表記の価格は全て税込価格です。
◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。
子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。



2月5日(土)~3月7日(月)
「雛と雛道具」

井伊家13代直弼の愛娘弥千代の雛道具と大揃いの雛道具を、地元の家で伝来した御殿飾りなどとともに一挙公開。春の訪れを告げる恒例の展示です。



■スライドトーク
【日時】2月5日(土)14:00~(30分程度)
【解説】当館学芸員 【場所】講堂 ※無料(観覧料は別途必要)

私の研究最前線

「相続する彦根藩足軽」

彦根藩の足軽は、世襲して代を重ねることが多くありました。足軽の系譜史料を主な素材として家を相続させていくありさまを紹介いたします。

【日時】2月19日(土)14:00~15:30

【解説】当館学芸員 【場所】講堂
※資料代100円(観覧料は別途必要)

◆スライドトーク、講座とも当日受付(先着35人、受付は13:30~)

「側役日記」から見る殿様の姿

一井伊直幸の初入国を中心に

当館の学芸員と外部の日本史研究者が共同で進めている彦根藩資料調査研究会。その最新の研究成果や今後の展望を紹介いたします。

【日時】3月21日(月)・祝13:00~16:30
【場所】能舞台正面見所 【受講料】500円
【定員】60人(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
【申込期間】2月1日(火)~3月8日(火)必着
【申込方法】

▶往復はがきの往信の裏面に①住所②氏名③電話番号を、返信の宛名欄に①住所②氏名を書いて「彦根藩資料調査研究会」係へ郵送(〒522-0061金竜町1-1、1人1通まで)

▶博物館ホームページ(上記のQRコード)から申し込み

■【休館日のお知らせ】2月3日(木)
■2月2日(火)、同4日(金)は、展示替えのため一部休室します。

殿様の朝



▲側役日記(彦根藩井伊家文書)【部分】

がともに、藩士の「惣出仕」(全員出勤)の日で、殿様が「御目見」を受ける日であることから、「例刻」が「五つ半時」の

彦根藩の殿様に近侍する藩士である側役が記した側役日記「側役日記」で、殿様の朝一番の行動時刻として多くの日に記録されているのが「五つ半時」です。今回は、この時刻について見てみましょう。(以下に記す日付は、旧暦です。現在の暦にすると、約1ヶ月後の日付になります。)
第10代の殿様である井伊直幸(1731~1789)が彦根城表御殿で生活していた期間の、宝暦7年(1757)3月8日には、「例刻」に殿様の私生活の場である御殿奥向きから執務する表へ出て、黒書院にて「御目見」(面会)を受けたと記されています。また、同月15日には「例之通、五半時」に表へ出て、黒書院にて「御目見」を受けたとあります。これは、8日と15日

写真の古文書は、常設展示「古文書が語る世界」で、2月5日(土)~4月12日(火)の期間、展示します。
(彦根城博物館 陸山兼治)

こととわかります。また、安永9年(1780)11月晦日などの儀式がない日でも、「五つ半時」に表へ出て来て、家老の御機嫌伺いを受けています。こうした事例から、殿様が朝に奥向きから表へ出る基準の時刻が「五つ半時」であったと考えられます。ただし、朝に鷹狩や寺社参拝などに行く場合は、この時刻より早くに出てくることもありました。
この「〇つ時」という時刻の表し方は不定時法といい、日の出と日没を基準にして昼間と夜間をそれぞれ六等分したものです。そのため、現代の時刻に換算すると季節によりズレが生じます。今回取り上げた「五つ半時」は、宝暦7年3月8日の場合は午前8時半頃、安永9年11月晦日の場合は午前9時半頃にあたります。
江戸時代、殿様の活動には公私の区別が明確にはなく、また、現代の週休日のような定期的な休日はなかったようです。したがって、ほぼ毎日、「五つ半時」に奥から表に出る。これが彦根で生活した殿様の一日の仕事の始まりとして定着していったと考えられます。

とまきの玉手箱

